

RPC 工法

RPC 工法は、上下に二分割した平行四辺形のプレキャストボックスカルバートをw既設管渠等の頂板上部に設けた材料投入孔から既設管渠内部に搬入し、管渠内で更生管を構築することで、矩形渠、河川や水路を覆蓋した暗渠など、ボックスカルバート形状の下水道管渠に自立管渠を構築する工法です。

【性能】

管口径：1840×1400～3500×3500mm

施工延長：約300m

【特徴】

- ・下水を流しながらの施工が可能
- ・RPC ボックスカルバートは平行四辺形のため、施工時間が短い
- ・内部にGS ボードを装着することで、腐食防止、耐酸性などの耐久性向上
- ・施工後に道路下の最小土被り確保も可能

